

第2回 舞鶴市西市民プラザの運営方針に関する意見交換会 実施報告
(西市民プラザの未来を話し合う井戸端会議)

- 1 開催日時 : 令和6年11月11日(月) 午後6時30分から午後8時30分まで
 - 2 開催場所 : 西市民プラザ 催し場
 - 3 参加者 : 22名(うちコアメンバー11名)
 - 4 地域実践報告登壇者 : 4名
 - 5 傍聴者 : 2名
 - 6 内 容
 - (1) テーマ : 学びと課題共有「出会いと交流、学びと活動の場はなぜ地域に必要なの？」
 - (2) 内 容 :
 - ・ 舞鶴の実践に学ぼう
 - ① 報告
【登壇者】
 - ・ いさざ会館 代表 浦岡 雄介氏
 - ・ まちづくり団体 mylink 代表 高田 智哉氏
 - ・ NPO 法人 まいづる遊 BixS 理事長 児島 信行氏
 - ・ NPO 法人 健康づくりお助け隊チームファイン 代表 金井 和枝氏
 - ② 関心の活動に集って井戸端談義
 - ・ パネルディスカッション「多様な市民活動を一步前に進める場づくりを考えよう」
 - ① パネルディスカッション
 - ② 気づきの共有と意見交換
 - ・ ふりかえり～今日の気づきの共有～
- 7 ファシリテーター : 谷口 知弘氏(福知山公立大学 地域経営学部 教授)

この会議は、多世代が集まって意見を交換するだけでなく、西市民プラザがどのような目的で建てられたのか、市民活動の場の意味や価値などを他地域の先進事例等を参考に学び、その学びから得た気づきを共有しながら西市民プラザの今後の運営方針について参加者同士で話し合うことを目的としています。

第2回は、参加者の皆さんに拠点での活動のイメージを膨らませてもらうことや市民活動の意義を学んでいただくため、舞鶴市内で活躍されている4名にお越しいただき、活動を始めたきっかけや想い、現在の活動、今後の展望などをお話いただきました。その後、グループに分か

れて登壇された方も一緒に交流し、舞鶴の多様な市民活動の知恵やつながりづくりについて意見交換をしました。

次回は、他地域で活動されている方にお越しいただき、先進事例を学びながら活動のアイデアを共有します。

【会議の様子】

▼ 舞鶴の実践の報告&パネルディスカッション



▼ 井戸端談義



参加者の感想

- ・ 「舞鶴は人が良い」と登壇者の皆さんが言っていたのが印象的であった。
- ・ 前回同様素晴らしい人々が地元にいるのだと思う。協力できることはしないと
いけないなと感じた。
- ・ 熱い方々がこんなにも舞鶴にいるとは知らなかった。私も何か動かなければ事
は始まらないということだと感じた。
- ・ 皆さんの活動のきっかけを知ることができてとても良かった。「不便を力に変
える」という言葉をいただいた。
「誰かのために」よりも「自分がしたいことをしていたら誰かを救っていたり、
誰かのためにになっていた」と良いことを知ることができたと思った。
- ・ 西市民プラザは郷土愛の育成や地域力の向上のための一つの手段で、あくまで
箱ものだったと思った。人が面白いと感じるようなことが大切だ。
- ・ ゆるく自由な発想の取組を聞くことができた。活動の展開、メニューやその活
動を起こそうと思ったきっかけの話は参考になった。
- ・ 活動をつなぐ「人」と「人」の交流ができればいいなと思った。ゆるい感じで
接点を持てるような活動ができればいいなと思った。
- ・ 舞鶴に全力で活動している大人がいること、登壇者全員とも本業とは別の活動
ということに驚かされた。登壇者の一人が言っていた「つなげるスタッフ」は大
切だと感じた。
- ・ 登壇者の皆さんの話がとても面白かった。誰か特定の人が背負うのではなく、
色々な人が「混じって」何かできたらいいなと感じた。これだけ面白い人がいた
ら、きっと何か起こる！という可能性を感じる会になった。
- ・ 「つなぎ」「つなぐ」はとても大切だと感じた。分断でなく、共生、融和が進
む西市民プラザであってほしい。
- ・ もっと広くこの会議を周知してほしい。